

1 市の概況

●歴史と緑のまち

天下の奇祭として有名な「国府宮はだか祭」で知られる稲沢市は、かつては尾張国の政治・文化の中心地として国府が置かれていた歴史あるまちであり、江戸時代には東海道と中山道を結ぶ美濃路の宿場町としてにぎわいました。そのため市内各地には、かつての稲沢の隆盛を今に伝える史跡や文化財が数多く残されています。

市域の西に接する木曾川によって堆積された肥沃な土壌と温和な気候を生かし、植木・苗木の産地として発展してきました。現在は住宅地や工業団地の開発などを進め、名古屋都心から交通至便な場所として注目を集めています。

「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」、「名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」の形成を目指し、「名古屋圏における稲沢市の存在感向上」をまちづくりのコンセプトとして市民や企業、団体、行政が連携してまちづくりに取り組んでいます。

●地勢・位置

稲沢市は、愛知県の西部、濃尾平野のほぼ中央に位置しています。



* 地勢

面積 / 79.35km²

東西 / 約 14.6km

南北 / 約 9.2km

* 市庁舎の位置

東経 136度46分49秒

北緯 35度14分53秒

●人口

区分 年度	人 口 (人)			世帯数 (世帯)	備 考
	総 数	男	女		
昭和33年	50,514	23,624	26,890	9,206	昭和33年11月1日市制施行時
平成17年	137,768	68,281	69,487	46,937	平成17年 4月1日 (1市2町合併時)
令和元年	136,915	67,868	69,047	54,550	平成31年 4月1日現在
令和2年	136,467	67,752	68,715	55,191	令和2年 4月1日現在
令和3年	135,941	67,437	68,504	55,757	令和3年 4月1日現在
令和4年	134,748	66,732	68,016	55,773	令和4年 4月1日現在
令和5年	133,783	66,190	67,593	56,225	令和5年 4月1日現在